

科目責任者 花田 和彦(薬物動態学研究室)

■ 教育目的

1. 臨床薬剤師として必要な知識と技能を演習形式の授業で身につける
2. 学生が自分の希望に合わせていくつかの内容から演習項目を選択できる
3. バイタルサイン演習を高機能シミュレータを利用して学ぶ
4. 臨床問題を解決するための IT リテラシーと英語能力を学ぶ
5. 実践的な薬物動態学の能力を磨く
6. 臨床統計を学ぶ
7. アドバンストな SOAP 演習を行う
8. 電子カルテに触れて、症例を学ぶ

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、⑥】

■ 学習到達目標

6年制薬剤師教育のまとめとして、課題解決型の学習を行い、よりレベルの高い統合的な能力を身につける。(知識・技能・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：オリエンテーション時に選択した演習内容について、予備知識を自己学習する (30分以上)。

復習：当該日の演習内容を復習し、理解不足部分を見つけ、補うことにより知識を豊かにする (30以上分)。

■ 授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	オリエンテーション	授業のオリエンテーションを行い、各自が科目を選択した後にグループ形成を行い、各演習のオリエンテーションをテーマ毎に行う	
3～4	テーマ別講義・演習	9～10種類の演習テーマについての各講義の後、SGD形式で演習する 医療の基礎講義と医薬品情報評価演習 薬物動態学講義・演習	
5～6	テーマ別講義・演習	高機能シミュレーターについての講義・演習 バイタルについての講義・演習	
7～8	テーマ別講義・演習	臨床推理トレーニング講義・演習 緩和ケア講義・演習	
9～10	テーマ別講義・演習	病態解析講義・演習 臨床検査データ解析講義・演習	
11～12	テーマ別講義・演習	アサーショントレーニング講義・演習 薬事委員会についての講義・演習	
13～14	多職種連携についての特論	日本社会事業大学教員による特別講義	

■ 授業分担者

石川 洋一、石橋 賢一、大野 恵子、小林 カオル、榎山 暁史、花田 和彦、町田 いづみ、三田 充男、野澤 玲子、安 武夫、田中 靖子、松本 邦洋、鈴木 陽介、高橋 雅弘、永井 純子、小田 絢子

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義・演習中に随時質問を受け付け、解説・説明する。授業出席 (40%)、参加態度 (30%)、レポート (30%) により評価する

■ 参考書

治療薬マニュアル(医学書院)、今日の治療薬 (南江堂)、
Pharmacotherapy: A Pathophysiologic Approach, 10ed 等
『症例から学ぶ SOAP ワークブック』 緒方、越前、高橋 (じほう)

■ その他

AB 合同授業(病院薬学コース選択学生)。テーマ別演習の項目と日程は都合により追加・変更されることがある。